

校長先生はえらいのだ

広辞苑で調べてみると「えらい」という言葉には2通りの意味があります。

- ① すぐれている。人に尊敬されるべき立場にある。「一い先生」
- ② 苦しい。痛い。つらい。「坂道を登るのが一い」

以前はおそらく校長という立場は①の意味で使われていたことが多いのでしょうね。では最近はどうでしょうか。

本校の場合、例を2つほど挙げて考察したいと思います。

1つ目は給食の検食を例に挙げたいと思います。

江戸時代の殿様の食事は毒味係が何人もいて殿様の口に入る頃は料理が冷めてしまうほど時間をかけて念入りに検食を行ったそうです。城の^{あるじ}主である殿様に安全なものをいただいてもらうためにはお毒味役は命をかけて職務にあたっていたのです。



本校の検食役は私です。

2つ目の例は校内不審者侵入の場合です。

凶器を持っているかもしれない不審者が校内に侵入したとしましょう。対話が成り立つ不審者であれば、とりあえず不審者を校長室へ誘導することになっています。そして、校長がこの不審者に対応して(時間をかせいで)いる間に生徒や職員が安全な場所に避難するというのが本校の避難マニュアルです。

気の毒なことにこの間の校長の生命の安全保障はありません。

ことほど左様に、校長はえらいのです。